

## ドライバー向け～自転車との事故防止のポイント～

自転車マナーの徹底と同時にドライバーが自転車に対して気を配ることも大切です。自転車との事故防止のポイントを紹介します。

### ①交差点の右左折時は自転車の有無を確認する

交差点を右左折するときは、自転車の有無を必ず確認しましょう。ミラーだけではなく、顔を振り向けるなどしてしっかり確認してください。

夜間は車と同一方向から進行してくる自転車をヘッドライトが照らさないため、一層発見遅れやすくなります。



### ②道路外施設への右左折時も自転車に注意する

右左折して店舗などの駐車場などの道路外施設に入るときや出るときは、歩道などの手前で必ず一時停止して、自転車の有無を確認してください。

### ③追抜き時や追越し時は側方間隔をとる

自転車を追い越すときは、間隔を十分に取ってスピードを落としてください。



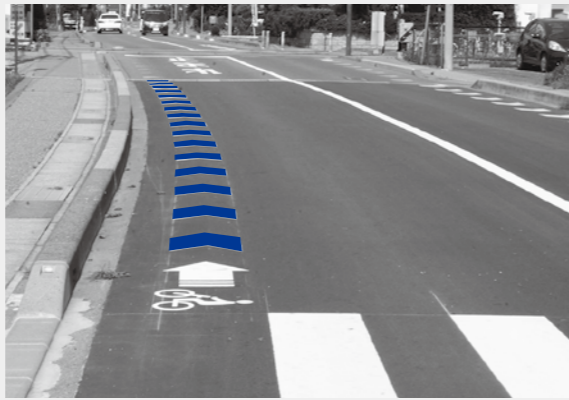
### ④生活道路では脇道からの飛び出しに注意する

比較的交通量の少ない生活道路では、見通しの悪い脇道から安全確認をせずに飛び出してくる自転車も少なくありません。飛び出しを意識して、いつでもブレーキが踏める体勢の運転を心がけてください。



## トピックス

### ▶▶▶ 青い矢羽根をご存じですか? ▶▶▶



▲南豊科駅付近に設置された矢羽根マーク

### ▶▶▶ 青い矢羽根マーク（矢羽根型路面表示）とは? ▶▶▶

矢羽根型路面表示とは、自転車の通行位置と方向を路面に記して、自転車の安全な通行を促すものです。自動車ドライバーに対しても、車道上の自転車通行位置を知らせる路面表示です。

### ▶▶▶ 自転車走行指導帯とは? ▶▶▶

自転車の通行領域を青い矢羽根などで道路に明示しながら、自動車やバイクなども走行出来る部分を自転車走行指導帯といいます。

### ▶▶▶ 期待できる効果 ▶▶▶

- ①自転車やドライバーが自転車の通行する場所を認識しやすくなる
- ②自転車を歩道から車道へ誘導し左側通行を徹底できる
- ③自動車の幅寄せの軽減

### ▶▶▶ ドライバーの皆さんへお願い ▶▶▶

矢羽根型路面表示を踏むことは交通違反になることはありませんが、走行車線の中で自転車の走行空間を保てるよう意識し安全運転に努めてください。

### ▶▶▶ ご注意ください ▶▶▶

安曇野市サイクリングコース上のオレンジ色の矢羽根はコースを案内するものです。青色の矢羽根型路面表示とは異なります。同じように自転車の走行にご注意ください。

## Mission2

# 安全に自転車に乗ろう

## 合言葉は ぶたはしゃべる



ガードレールに衝突。スピードの出しすぎは注意したほうがいいね。ヘルメットも大事!

下り坂でブレーキが利かなくて怖い経験をしたことがあるよ。ブレーキの点検は大事だね!

塀がある交差点を通るときにヒヤッとしたことがある。広い道を渡るときも気を付けないと危ないよね。

並んで自転車に乗ると危ないよね。転んで怪我をしたことがあるから一列で乗るようにしないと。

▲身近で便利な移動手段、自転車。普段から通学で自転車を利用する穂高商業高校の皆さんに話を聞きました。

## 知ってる?守ってる?自転車の交通ルール

自転車は自動車と同じ**軽車両** ルールを守らなければ交通違反になります

### 車両と歩道どっちを走る?

自転車は**車道の左側**を走ろう



【例外】歩道を通行してよい場合

- ・標識などで自転車の歩道通行を許可している場合
- ・13歳未満の子ども、70歳以上の人や身体の不自由な人が運転する場合 など

自転車通行可標識

### 車両用と歩行者用どっちの信号を守る?

原則は**車両用の信号**を守ろう

【例外】歩行者用信号を守る場合

- ・歩行者用信号機に「歩行者・自転車専用」と表示されている場合
- ・横断歩道を押して通行する場合



### 交差点の「止まれ」では一時停止する?

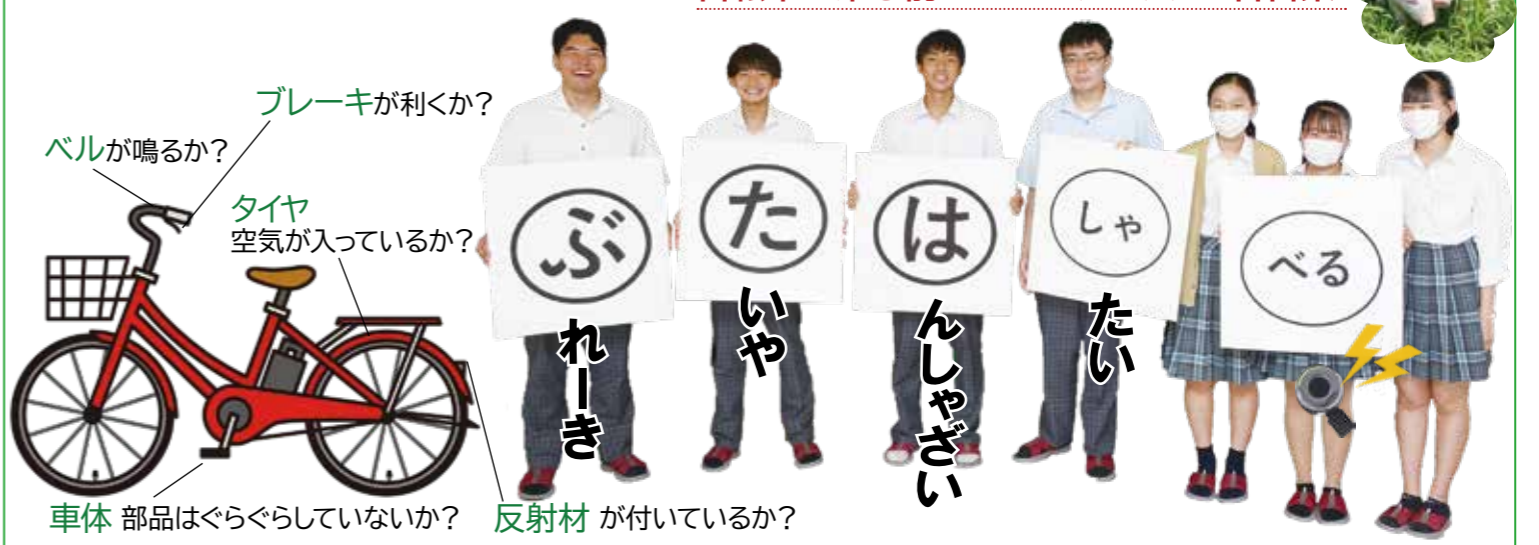
一時停止の標識や表示がある場所では**一旦止まって安全を確かめよう**

交通標識は自転車にも適用されます



## 日頃から自転車を点検して快適・安全に!

## 自転車に乗る前のセルフチェックの合言葉



ブレーキが利くか?

ベルが鳴るか?

タイヤ

空気が入っているか?

車体 部品はぐらぐらしていないか?

反射材 が付いているか?

## 夜間は反射材の着用とライトの切替えを

少しの気の緩みで交通事故がおおそかになります。一人一人の思いが安心して暮らせる地域につながります。

生かしています。

また、車を運転するときは、スピードは控えめにし、思いやりのある運転に心がけてください。夜間の運転は視界も狭くなるので、歩行者を早く発見するためにハイビームを利用しながらこまめにライトの切替えを行い慎重な運転をお願いします。6月の死亡事故も夜間に発生しています。

悲惨な事故を発生させないために、早朝や夕暮れ時や夜間には反射材を付けたら、明るい服装で出かけましょう。

この数カ月、交通事故が多く発生しています。年間を通しての交通事故件数は減っています。が、それでも毎日のように事故は起きています。



安曇野警察署 交通課 巡査長 北澤 透吾さん

## MESSAGE